

性的マイノリティの子ども達が 学校の中で抱える困難、課題（小学校）

表の左側は、大阪市内の学校に通学していたLGBT当事者の声です

● どんな小学校生活だった？

💡 対応のヒント

● 好きなアイドルについて話せなかった

自分の好きなものを好きだと言えない、もしくは自分のことを偽って過ごすのは誰にとっても辛い経験です。児童が辛い気持ちを打ち明けてくれた時は、その気持ちを受け止めましょう。「〇〇さんは〇〇が好きなんだね」と人と比べずにほめるようにし、自分自身を肯定する気持ちを育てましょう。

● 異性とばかり遊んでいた「中性」とからかわれた

● まわりから「ホモ、おかま」だとうわさされた

うわさしている児童には、テレビで言われている言葉でも傷つく人がいることと、うわさすること自体が良くないことだと伝えましょう。「おかまと呼ばれることが嫌だ、と先生に言ったら対応してくれてクラスの雰囲気が変わった」という声もありました。対応はケースバイケースですが、先生が「嫌な思いをしている」という子どものメッセージをスルーしないことが何より大切です。

● 自分ではよくわからない感情があり、それを周囲に伝えられず苦しかった

● スカートを履きたくなくてズボンばかり履いていた、スカートを履くことを強制され地獄のような日々だった

自分が他の人と違うことに気づいても学校でLGBTについて学ばないため、「自分はおかしい子なんだ…」と苦しんでいる児童がいます。LGBTの本を図書館に置いてみたり、LGBTについて学ぶ機会を作ったりして、「いろんな人がいるんだ」というメッセージを伝えましょう。

● 男の子だから、と伸ばしていた髪を切られたことがショックでたくさん泣いた

トランスジェンダーの児童は、ランドセルの色、男女別の授業、男女別の持ち物などに苦しんでいます。男女で色分けするのではなく、それぞれが好きなものを選ぶよう後押ししましょう。からかっている児童は放置せず、注意しましょう。

● 先生からの対応や、授業、部活などで困った、嫌だったことは？

💡 対応のヒント

● 保健の授業で、「みんな異性を意識する」と言っていて居心地が悪かった

「誰かを意識するようになります」という言い方に変えてみましょう。「相手は同性のことも異性のこともあります」と付け加えるより丁寧でしょう。

● 「もっと男の子（同性）と遊びましょう」と通信簿に書かれて嫌だった

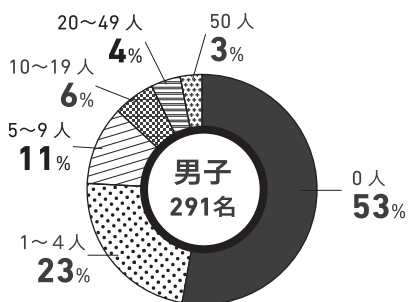
異性と遊ぶことが好きな子、同性と遊ぶことが好きな子、さまざまです。その子が居心地よく友達と過ごせることを優先しましょう。

● 性教育の授業で自分の身体について答えるのがしんどかった

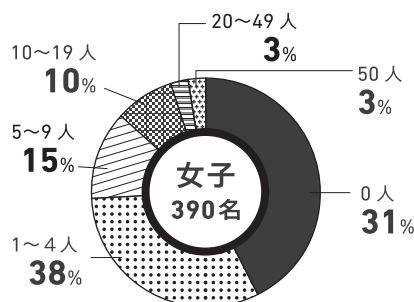
性器や性機能はプライベートな部分です。自分について話したくない子もいることを尊重しましょう。

Q 研究調査 | 小学生から高校生の間に自分がLGBTであることを話した人数（当時）

本調査における「男子」「女子」について：今回の調査では、学校内でそれぞれが「男子」「女子」として扱われる場面が大半であることを考慮して、あえて生物学的な性に沿った表記とさせていただきます



0人	53%
1～4人	23%
5～9人	11%
10～19人	6%
20～49人	4%
50人	3%



0人	31%
1～4人	38%
5～9人	15%
10～19人	10%
20～49人	3%
50人	3%

LGBTの学校生活に関する実態調査 (2013) <http://www.endomameta.com/schoolreport.pdf>

📖 おすすめ図書

たまごちゃん、たびにでる	フランチェスカ パルディ (著)
くりちゃんのふしぎながつき	はぎいわ むつみ (著)
ゲイのボクから伝えたい 「好き」の？(ハテナ)がわかる本	石川大我 (著)
思春期サバイバル 10代の時って考えることが多くなる気がするわ。	ここから探検隊 (著)

!!! 見直してみよう！

- ☐ 班分けを男女で分けないようにする
- ☐ 「くん」「ちゃん」を使わず児童が呼ばれたい呼び名を使う
- ☐ 席替えのときの名前を囲む線の色を赤と青にしない
- ☐ トイレスリッパの色を見直す
- ☐ どんなランドセルの色でも持ってきてきやすいようにする